

ピアホームだより

2023. 10. 10

虐待防止研修と

虐待防止・身体拘束適正化委員会

9月6日、令和5年度の虐待防止研修と虐待防止・身体拘束適正化委員会を開催しました。

研修は、委員長の埼玉県立大学森田先生に講義頂き、その後、精神科リハビリの分野で起こりやすい虐待事象について若干の討論をしました。

金銭管理—当所は外部機関の導入を原則としています。本人の意思の尊重と生活破綻をさせないところで介入をしており、日々試行錯誤の連続です。

ネグレクト—繰り返し同じことに応えなければならないこの病気の特性、対応するには根気がある仕事です。つい後回しにして放置してしまわないか？自問自答を繰り返す日々です。

委員会報告

出席：理事長・各事業管理者・監査委員

1 昨年、医療保護入院が出来なかったAさんを、8月末、民間救急を導入し医療保護入院に漕ぎつけたことを報告しました。室内が荒れ、タバコ火で失火の恐れもある状態で、ご本人にとっても劣悪な環境になっていました。暴力的な場面もなく、人権に最大限配慮できた入院だったと思います。

2 8月中旬に行方不明となったBさんの顛末—2週ぐらいして遠方で見つかった—の報告（都に報告）を行いました。まだ、理由など詳細はこれからです。

はすね会勉強会

9月2日土曜日、地域の家族会はすね会に2度目の講演を行ってきました。

今回は、私が関わって来たグループホームについてのお話をしてほしいとのことで—国や都の方針？グループホームの探し方、手続き、グループホームのサポートの内容、退所後は？—などでした。

グループホームは、望めば自然にたどり着くと思っていたのですが、いざホーム

を目指すとなると、多くの機関との関わりが必要で、簡単にはたどり着けないようです。まだまだ絶対数が足りないのでしょうか？住む家がなく困っている緊急性の高い方が優先されるため、親と住んでいる家族会の方などは後回しされてしまうのでしょうか？

JHC 板橋会 40周年記念に参加

9月9日、池袋メトロポリタンホテルで、JHC 板橋会 40周年記念式典が開催されました。

「であいふれあいわかちあい」と題し、JHC ゆかりの大塚ゆかり教授の講演会、「私と JHC、これからの JHC」と題してのシンポジウムでした。

精神科リハビリを切り開いてきた歴史を振り返り、また新たな歩みを始めようとの熱意の伝わる会でした。当アドボケイト会も日々の仕事での繋がりが一層深くなって来ています。福祉業界の良いところ？組織の垣根を越えて連携し共働する。今後も続けていきたいものです。

10月の予定

10月7日：防災訓練